

資料に関する補足説明

| | |
|------------------------|---|
| 議事 1 イノシシ捕獲に係る取組状況について | |
| 資料 1 | 2022 年度渥美半島野生イノシシ生息調査結果（速報） 資料 1 に記載のとおり。 R E S Tモデルによる生息密度の推定結果は、次回の協議会にて報告予定。 |
| 議事 2 イノシシ捕獲に係る取組状況について | |
| 資料 2 | |
| 資料 2 - 1 参考資料 1 | 1 野生イノシシの捕獲頭数の（速報）の推移 資料 2 に記載のとおり。 なお、田原市の捕獲頭数について、愛知県が実施している指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲頭数を除いた有害捕獲による捕獲頭数については、7 月までの累計値は 6 頭と、昨年度同時期（18 頭）と比べ減少していたが、8 月に急増している。 |
| 資料 2 - 2 | 2 捕獲イノシシの年齢査定の結果 資料 2 に記載のとおり。 3 捕獲努力量の把握の試みについて 資料 2 に記載のとおり 4 農作物被害額について 資料 2 に記載のとおり。 なお、グラフにおいて、2021 年度の農作物被害額について、田原市では、「0 千円」となっているが、これは調査時に被害の報告がなかったという結果であり、田原市内におけるイノシシによる農作物被害が全くなかったということを示しているわけではない旨、留意が必要である。 |
| 参考資料 2 | 5 その他 資料 2 に記載のとおり。 愛知県内に野生イノシシの豚熱陽性個体の発見状況について、2022 年 9 月 13 日に新たに豊田市内で 2 例確認され、2021 年 10 月以降の累計では 14 件となっている。 2022 年度の愛知県内の他の地域での野生イノシシの捕獲頭数（速報）について、6 月までの累計値はいずれの地域の 2021 年度と比べ、増加している。しかし、昨年 10 月以降、野生イノシシの豚熱陽性個体が散見されている豊田市については、7 月末までの累計 |

値が 516 頭で、昨年度同時期（685 頭）と比べ、減少している。

議事 3 その他

昨年度も実施したイノシシの生息密度が低下した環境下で効果的な捕獲手法の開発・実証を目的としていた「効果的捕獲促進事業」について、今年度は、昨年度の結果を踏まえ、現場での検証を中心に実施する方向で検討中。次回の協議会において、経過等を報告させていただく予定。